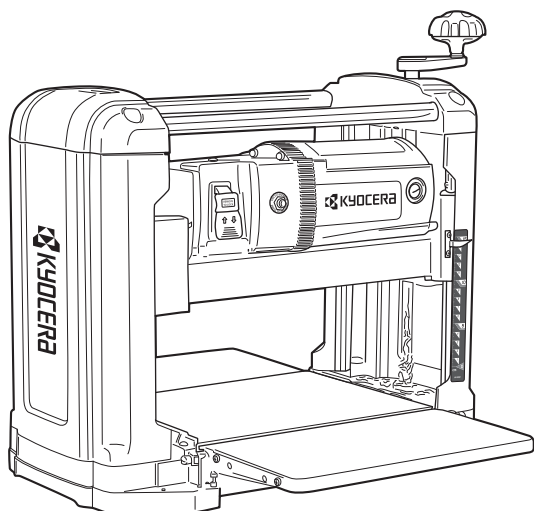


自動カンナ AAP120

取扱説明書

保証書付



もくじ

■安全上のご注意	1～7
■各部の名称・仕様	8
■付属品・用途・別販売品	9
■ご使用前の準備	10
■操作方法	11～13
■作業方法	14～16
■別販売品について	17～18
■保守と点検	19～23
■保証書	裏表紙

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△ 警告」と「△ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。なお、「△ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△ 警告」・「△ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

B) 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電するおそれがあります。

警告

3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
 - ・感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

C) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
3. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
4. 安全保護具を使用してください。
 - ・作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。
5. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。
6. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。
7. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。

警告

- ・材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかり固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

8. きちんとした服装で作業してください。

- ・回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ・屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

9. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

- ・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・保管、または修理する場合
- ・その他危険が予想される場合

4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

- ・不慣れな方のご使用は危険です。

5. 電動工具の保守点検をしてください。

- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

警告

- ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。
- ・指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。
8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を發揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。
 - ・アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
- ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
- <異常・故障例>
- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かない。 等
- すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
4. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電のおそれがあります。

自動カンナご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、自動カンナをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、工具類（カンナ刃など）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
3. 使用中は、切削排出口に指などを入れないでください。
 - ・カンナ刃が高速回転していますので、けがの原因になります。
4. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（カンナ刃など）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
6. 材料が長い場合や重い場合には、補助ローラーなどを使用してください。
 - ・材料、機械が不安定になり、けがの原因になります。
7. 必ずアース（接地）してください。
 - ・アースしていないと感電の原因になります。
8. アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・爆発のおそれがあり、事故の原因になります。
9. 運搬は2人以上で行なってください。
 - ・けがの原因になります。
10. 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
 - ・発火したり、異常作動してけがの原因になります。

⚠ 注意

1. 本体はぐらぐらしない安定した場所に設置し、使用してください。
 - ・不安定ですとけがの原因になります。
2. 工具類（カンナ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、カンナ刃が破損したり外れたりし、けがの原因になります。
3. カンナ刃の取扱いは、手袋・ウエスなどで手を保護し、十分注意してください。
 - ・けがの原因になります。
4. カンナ刃の交換後は、カッター締付ボルトを十分に締付けてください。
 - ・締付けが不十分ですと、カンナ刃が破損したり外れたりし、けがの原因になります。
5. 作業前に、カンナ刃を空転させ、本体の振動などの異常がないことを確認してください。
 - ・異常があるとけがの原因になります。
6. 使用中は、軍手などの巻込まれるおそれのある手袋は使用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
7. 材料に釘などの異物が入ってないことを確認してください。
 - ・刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. スイッチを切った後も、惰性で回転しているカンナ刃に注意してください。
 - ・手を切ったり、コードを切断し、感電のおそれがあります。
9. 切削作業の途中で、材料を後退させないでください。
 - ・けがの原因になります。
10. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。



切削排出口に指などを入れしないでください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

付属品・用途・別販売品

● 付属品

- ・ 高さ調整ハンドル ……………1
- ・ ブレードピックアップ …………… 2
- ・ 六角棒レンチ 4mm ……………1
- ・ ネジ (M5x20) ……………1 (ハンドル取付用)
- ・ ワッシャー (M5) ……………1 (ハンドル取付用)

● 用途

- ・ 木材の平削り

● 別販売品

- ・ カンナ刃 2 枚組
- ・ 補助ローラー (HRS50)
- ・ 集じんアダプターセット*

※ 集じん機に接続することで粉じんの少ない作業ができます。



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの
販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

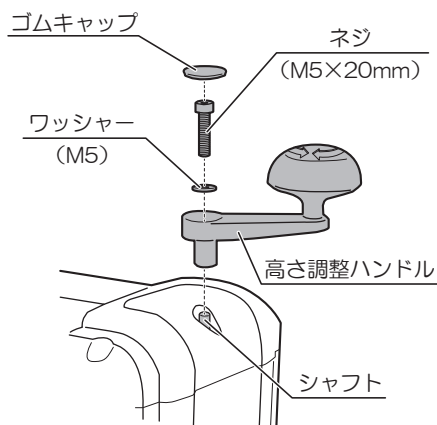
<電子カタログ>
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



ご使用前の準備

●高さ調整ハンドルの取付け

- ・高さ調整ハンドルの上部からゴムキャップを取外します。
- ・高さ調整ハンドルの切り欠きとシャフトの切り欠きの位置を合わせ、高さ調整ハンドルをさし込みます。
- ・付属の六角棒レンチを使用して、付属のネジ (M5 × 20mm)、ワッシャー (M5)、を右図の順に取付けます。
- ・ゴムキャップを高さ調整ハンドルの元の位置 (上部) に取付けます。



●作業場に関して

- ・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●漏電しゃ断器について

- ・ご使用前に、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置 (漏電しゃ断器) が設置されていることを確認してください。

●アース (接地) について

- ・感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地 (アース) してください。
- ・接続するときは、コード端にあるアースクリップを使用してください。
- ・アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと本体の金属部 (外部) 間の導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続するなどの電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。

●延長コードについて

⚠ 警告

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。右表は使用できるコードの太さ (導体公称断面積) と、最大の長さです。

※ 延長コードを使用すると能力が低下します。

コードの太さ	最大の長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	20m

操作方法

●スイッチの扱い方

⚠ 警告

- ・電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。

⚠ 注意

- ・スイッチを入れる前に、ダストカバーが取付けられているか確認してください。ダストカバーを取付けずにスイッチを入れると、けがの原因になります。

- ・スイッチは、スイッチキーをさし込んだ状態でON（I）側に倒すと始動し、OFF（O）側に倒すと停止します。

※ 使用しないときや保管、持ち運ぶときは、スイッチキーを取外し、スイッチがONしないようロックしてください。

（ロック方法）

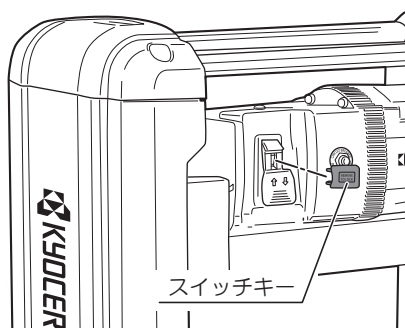
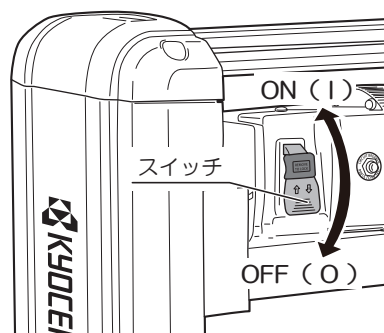
- ・ロックするには、スイッチをOFFにし、スイッチキーを引抜いてください。スイッチキーを抜くと、電源は入りません。使用するときは、スイッチがOFFであることを確認してスイッチキーをさし込んでください。



運転中にスイッチキーを抜いた状態でも、本機の電源を切ることはできますが、再度スイッチキーを差し込まないと再始動できません。



スイッチキーを紛失すると本機を始動できなくなりますので、なくさないように保管してください。



●切削深さの調整

- ・切削深さを調整する際は、切削材をテーブル面に沿わせて載せてください。切削材の前側や後側が浮いた状態では、設定した切削深さと実際の切削深さが異なります。
- ・切削幅によって最大切削深さが異なります。右の表を参考に切削深さを調整してください。

切削幅	最大切削深さ
150 mm 以下	2.3 mm
150 mm ~ 240 mm	1.5 mm
240 mm ~ 304 mm	1.0 mm



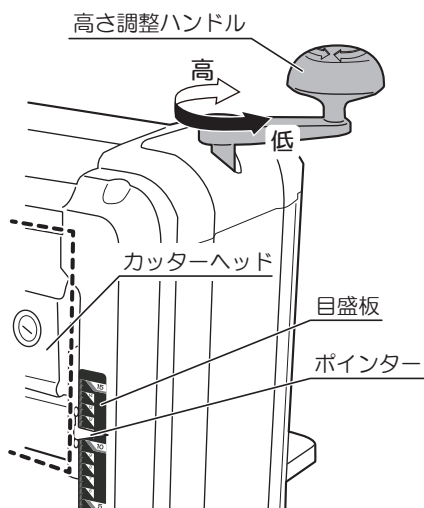
右の表に記載の指定の数値を超えて切込むと、事故や故障の原因になります。指定の切削深さの範囲内で作業を行ってください。

- ・削りしろが右の表に記載の指定の数値より大きいときは、2回以上に分けて切削してください。
- ・高さ調整ハンドルを矢印（高）方向に回すとカッターヘッドが高くなり、矢印（低）に回すと低くなります。高さ調整ハンドルを1回転させると、カッターヘッドが1.6 mm 動きます。

※ 目盛板は目安です。正確に調整するときは実測してください。



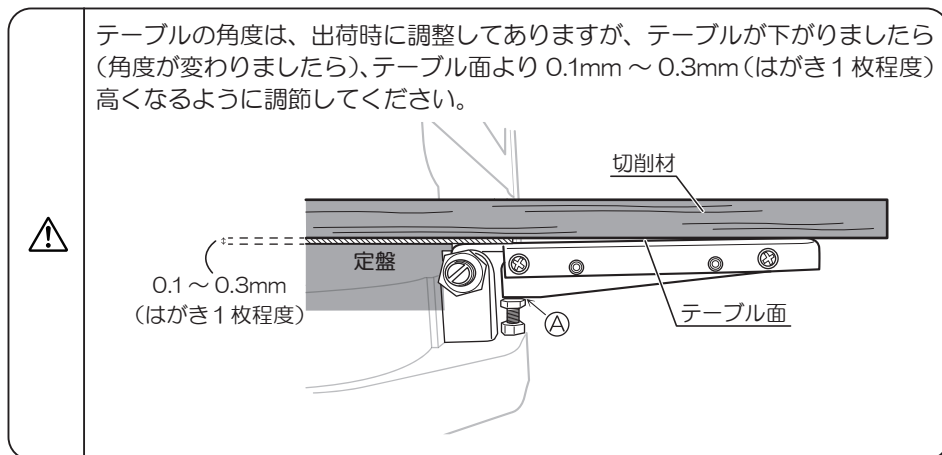
テーブルを折りたたんだ状態でカッターヘッドを下げると、テーブルにカッターヘッドが接触し破損の原因になります。切削深さを調整する際は、テーブルを開いた状態で行ってください。



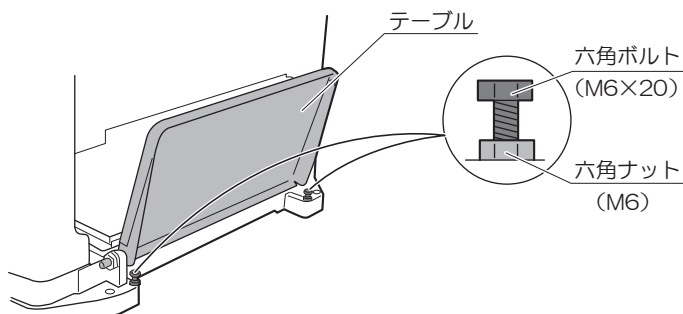
操作方法

●テーブルの角度調節

1. 前後のテーブルを折りたたみ、市販のスパナ（10mm）で両端の六角ボルト（M6 × 20）をゆるめます。
2. 市販のスパナ（10mm）で、六角ボルト（M6 × 20）を回すことにより、テーブルの角度が調節できます。



3. 両端の六角ボルト（M6 × 20）が同じ高さになるように調整します。調整後、上図の A が両端とも接触していることを確認します。
4. テーブルの角度調節後は、市販のスパナ（10mm）で六角ボルト（M6 × 20）を固定し、もう一方のスパナで六角ナット（M6）を締付けてください。



作業方法

●材料の切削

⚠警告

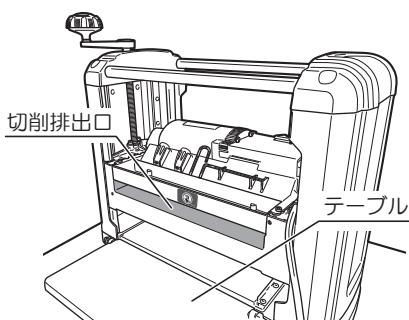
- ・使用中は、カンナ刃や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・切削排出口に指などを入れないでください。



- ・使用中は、カンナ刃が高速回転していますので、けがの原因になります。
- ・カンナ刃は非常に鋭利なため、回転していなくても接触してけがをするおそれがあります。
- ・送材中はテーブル付近に手を近づけないでください。手を巻込まれるおそれがあります。
- ・2本以上の材料を同時に切削する際は、できるだけ間隔をあけて切削してください。薄い材料がカンナ刃によって跳ね返され、けがの原因になります。
- ・ご使用後は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

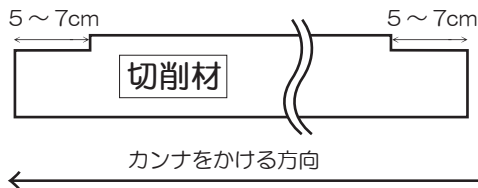
⚠注意

- ・材料に釘などの異物が入っていないことを確認してください。刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ・能力を超えた作業は事故のもとです。カンナ刃は常に良い切れ味にしておき、回転が上がった後、加工を始めてください。




テーブルの上に切削材を落下させてしまうなど、過度な衝撃を与えますと、テーブルが変形するおそれがあります。

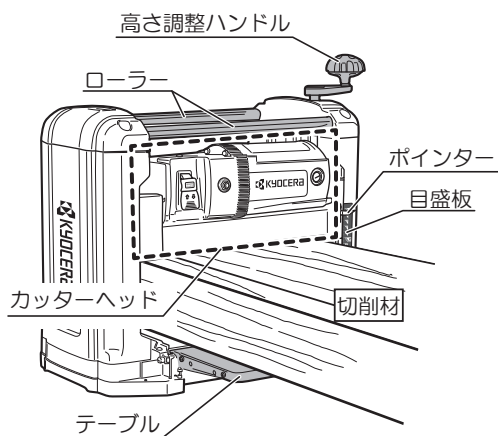
切削時、両端5～7cm間にわずかな段差が生じます。精密なカンナがけを行なう場合は、両端の段差ができる部分(5～7cm)だけ余裕を持たせ、切削後に段差部分をカットしてください。




作業方法

- ・ 切削材の厚さに合わせ、高さ調整ハンドルを回してカッターヘッドの位置を調整します。
- ・ スイッチをONにし、切削材をテーブル前方より送り込みます。


 長尺材の切削では、切削材の前側または後側をささえて、切削材の重量バランスを取ってください。




- ・ 必要な材料厚さになるまで切削を繰り返します。
- ・ 何回も繰り返し切削を行なう場合は、本体上面のローラーを使用することで作業が楽に行なえます。

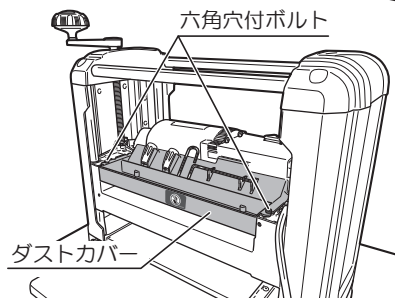
 右の表に記載の指定の数値を超えて切込むと、事故や故障の原因になります。指定の切削深さの範囲内で作業を行なってください。

切削幅	最大切削深さ
150 mm 以下	2.3 mm
150 mm ~ 240 mm	1.5 mm
240 mm ~ 304 mm	1.0 mm

 薄板加工時には、定盤周辺の切り屑を掃除してから作業してください。切り屑があると、屑を挟んでカッターヘッドが十分に下がらず、加工出来ない原因になります。

- ・ 反った切削材は、自動で送らない場合があります。反った切削材は上面と下面を数回手で押しながら切削をし、面出しを行ってください。その後、必要な寸法に切削してください。
- ・ ご使用後は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

 作業終了後は、機械各部を清掃してください。特にダストカバー内側などの切削屑の溜まりやすい部分はエアブローなどで清掃してください。切削屑をそのままにしておきますと、プーリーなど機械各部の損傷の原因になります。

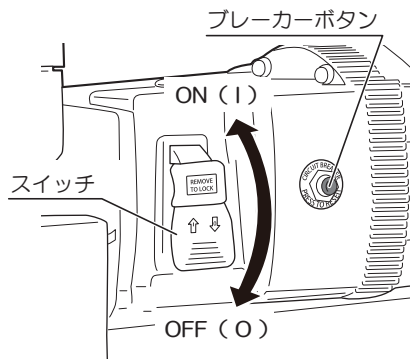


●過負荷保護装置（ブレーカー）について

- ・使用中、モーターに負荷がかかり過ぎると過負荷保護装置（ブレーカー）が働き電源が切れます。

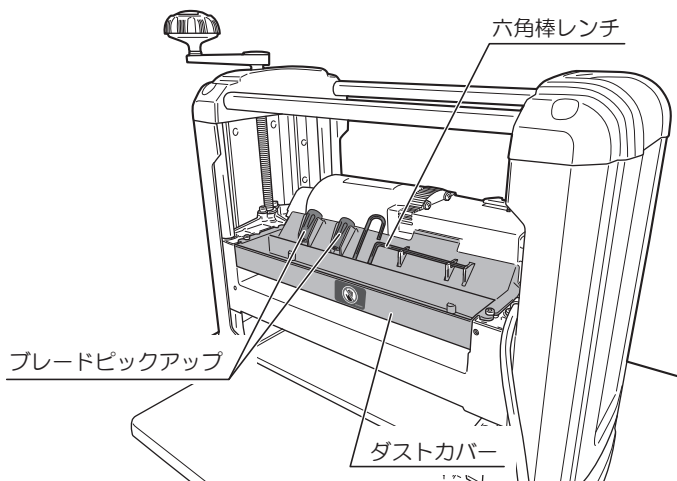
作業を再開する場合は、以下の手順でブレーカーボタンをリセットしてください。

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜いてください。
2. 切削中の過負荷の原因を取除きます。
3. モーターハウジングが冷えてから（目安：2～3分経過後）ブレーカーボタンを押してください。
4. 再度、電源プラグを差し込み、スイッチをONにして再始動します。
5. 起動しない場合は、モーターがさらに冷えてから、再度ブレーカーボタンをリセットしてください。



●収納位置

- ・ 図の位置に付属品を収納できます。



別販売品について



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

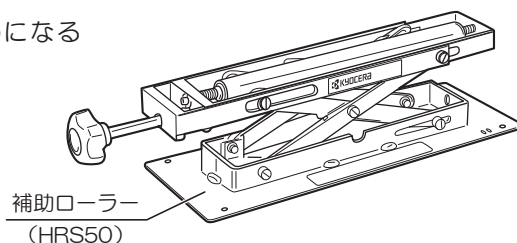
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



●補助ローラー（HRS50）

補助ローラーを使用することで、長い切削材を切削することができます。

- ・ 補助ローラーは、定盤より少し高めになるように、高さを調整して使用します。



●集じんアダプターセット

集じんアダプターセットを使用して木工用集じん機に接続すると粉じんの少ない作業ができます。

<同梱内容>

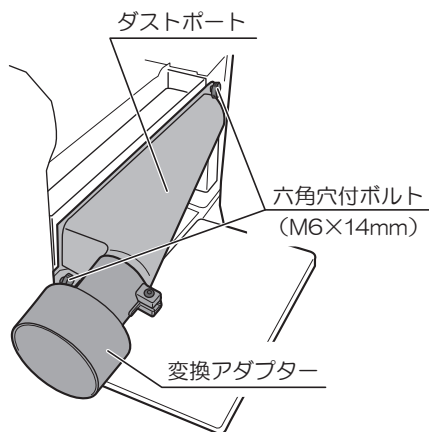
- ダストポート（排出口外径 53 mm） …… 1
- 変換アダプター（排出口外径 100 mm） … 1

※ 出荷時には、ダストポートに変換アダプターは取付けてあります。

（ダストポートの取付け）

1. 付属の六角棒レンチ（4mm）を使用して、本機に取付けてある2本の六角穴付ボルト（M6×14 mm）を取外してください。
2. ダストポートを本機の右図の位置に合わせ、1.で取外した六角穴付ボルト（2本）を締付け固定してください。

※ ダストポートは左右どちら向きでも取り付けることができます。



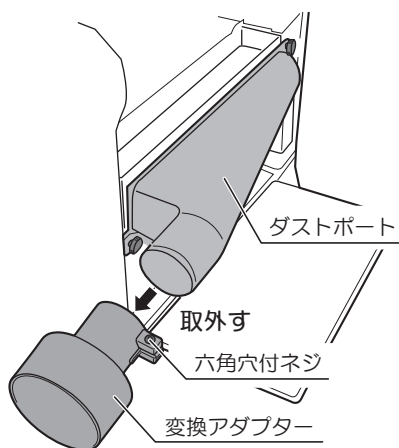
<変換アダプターを取外して使用する場合>

（取外し）

1. 本機に付属の六角棒レンチ（4mm）を使用して、変換アダプターを締付けている六角穴付ネジをゆるめます。
2. ダストポートから変換アダプターを取外してください。

（取付け）

1. 取付けは、取外しと逆の要領で行なってください。



<木工用集じん機との接続>

ダストポートまたは変換アダプターの排出口に木工用集じん機のホースをさし込んで接続してください。



木工用集じん機に接続する場合、ホースによっては接続できないものがあります。木工用集じん機の取扱説明書をよくお読みください。

保守と点検

⚠ 警告

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

● カンナ刃の交換

⚠ 警告

- ・ カンナ刃の交換の際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

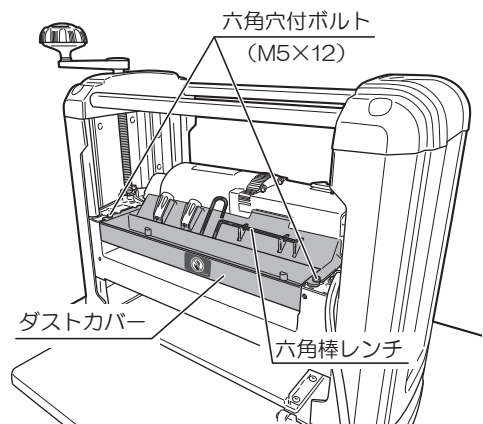
⚠ 注意

- ・ カンナ刃の取扱いは、防刃手袋、ウエスなどで手を保護し、十分注意してください。けがの原因になります。

※ 切れ味の悪くなったカンナ刃をそのまま使用するとモーターなどに無理がかかり、能率も落ちますので早めに新品と交換してください。カンナ刃を交換する場合は、2枚1組単位で交換してください。中古のカンナ刃と新品のカンナ刃を1組にして使用するとバランスが悪くなり、振動が出たり、機械の寿命を低下させます。

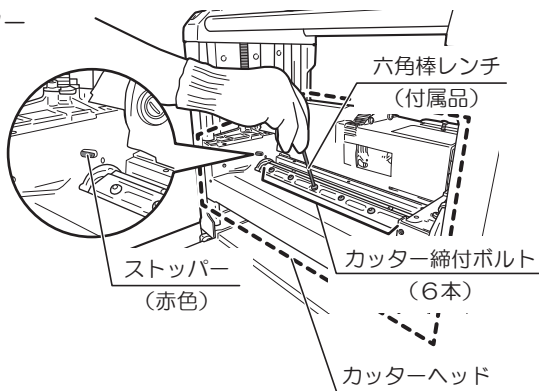
(カンナ刃の取外し)


1. カッターヘッドを下まで下げてから、付属の六角棒レンチ（4mm）で、本体後側の六角穴付ボルト（M5×12、2ヶ所）を取外し、ダストカバーを取外します。

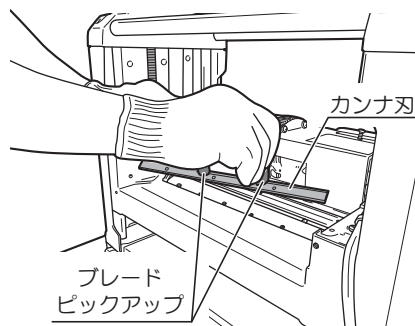
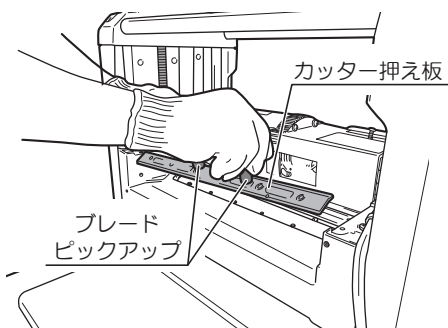



2. 付属の六角棒レンチ (4mm) でカッター締付ボルト (6本) を取外します。

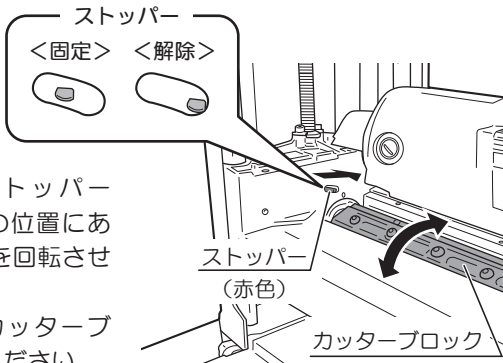
3. カッター押え板とカンナ刃を付属のブレードピックアップの先端のマグネットを使用して慎重に持ち上げて取外します。



 カンナ刃に接触し、けがをするおそれがありますので、カンナ刃周辺に触れるときは十分注意してください。



 ・カッター締付ボルトやカッター押え板、カンナ刃を取外すときは、作業しやすい位置にカッターブロックを慎重に回転させてください。
 ・カッターブロックにはストッパー (赤色) があり、図の固定の位置にあるときはカッターブロックを回転させることはできません。解除の位置にしたまま、カッターブロックを慎重に回転させてください。



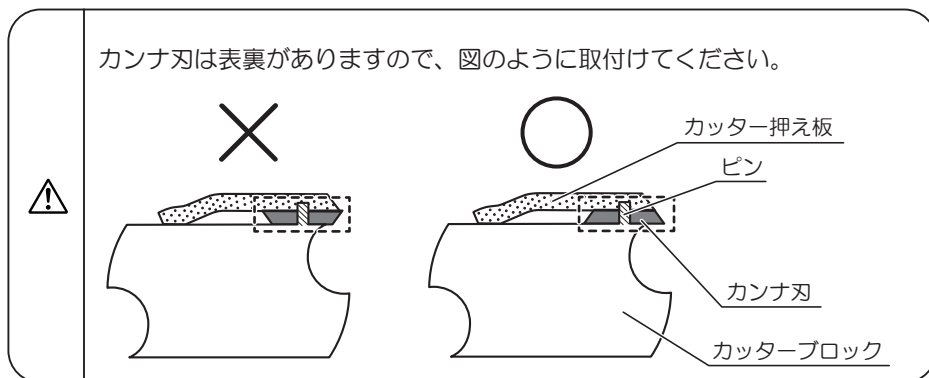
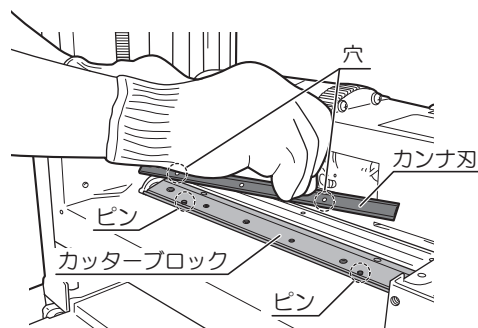
保守と点検

(カンナ刃の取付け)

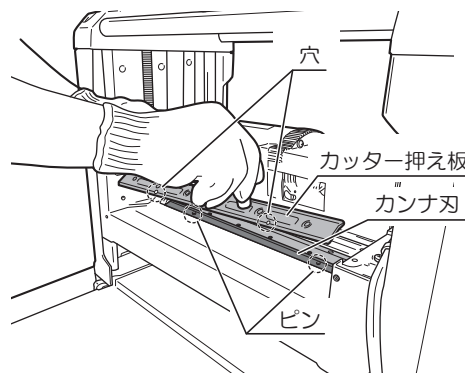
1. 取付けの際は、カッターブロックのカンナ刃取付け面が水平になるよう位置を合わせてください。

2. 新品のカンナ刃を取付けるか、取付けられているカンナ刃の反対側の刃を使用するように反転させて取付けます。取付ける際は、カッターブロックのピンがカンナ刃の穴(2ヶ所)と一致するようにカンナ刃を置いてください。

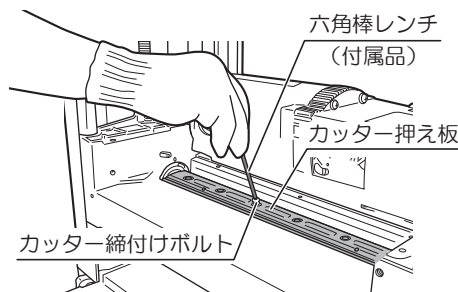
※ カンナ刃は、両側とも刃部となっています。片側の切れ味が悪くなった場合、反対側の未使用の刃部を使用できます。カンナ刃を反転させる際は、2枚とも反転させてください。



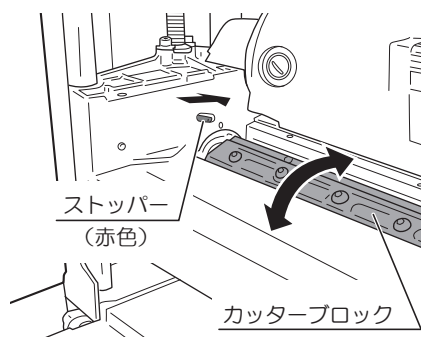
3. カッターブロックのピンにカッター押え板の穴(小, 2ヶ所)が入るように置いてください。



4. 付属の六角棒レンチ（4mm）でカッター締付けボルト（6本）を締付けてカッターブロックにカンナ刃とカッター押え板を固定します。



5. 赤色のストッパーを解除の位置にしたまま、カッターブロックを 180° 慎重に回転させます。2 組目のカンナ刃も同様に交換してください。



ダストカバーを取付けると、ストッパーは解除されます。運転時は必ずダストカバーを取り付けてください。
ダストカバーが無い状態で運転すると、ストッパーが解除されずカッターブロックがロックし事故や故障の原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・ 油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ 各部を清掃してください。特にダストカバー内側など切削屑が溜まりやすい部分はエアダスターなどで清掃するようにしてください。また、各摺動部には時々注油をしてください。

●作業後の保管

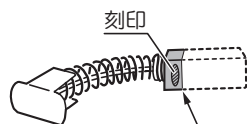
- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。

保守と点検

●カーボンブラシについて

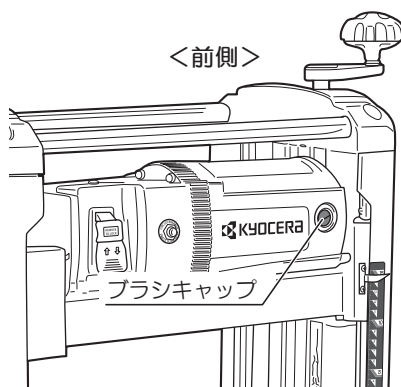
- ・カーボンブラシは消耗品です。
製品が動かなくなったり、回転が不安定になったときはカーボンブラシの長さを確認の上、交換してください。
交換の目安は刻印の位置です。
- ・カーボンブラシの交換は、⊖ドライバーでブラシキャップを取外して行ってください。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。
交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも同時に交換してください。
この時、カーボンブラシがブラシホルダー内でスムーズに動くことを確認してください。

※ 本体後部のブラシキャップは、付属の六角棒レンチ（4mm）で、本体後部の六角穴付ボルトをゆるめ、ダストカバーを取外してから行ってください。

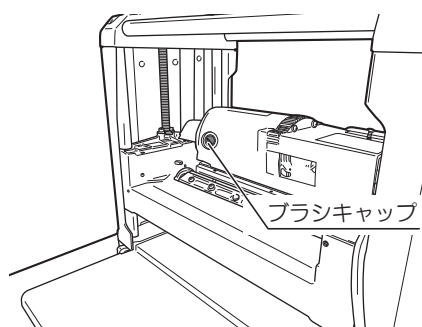


刻印の手前まで使用できます。

<前側>



<後側>



●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
その他、部品ご購入の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

— NOTE —

— NOTE —

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

QRコードまたはURLからご確認ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ

 0570-666-787

受付時間：
月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで
※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、QRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

保証書

持込修理

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名	AAP120	製造番号（表示位置は「●各部の名称」をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒	
	電話	()
お買い上げ日	年 月 日	保証期間（お買い上げ日より） 1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
 - 純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
 - 工場のライン作業など、連続して長時間使用したことによる故障または損傷
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - 水の浸入による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - 過剰な負荷で使用をされて生じた故障または損傷
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
 - 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
 - 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

